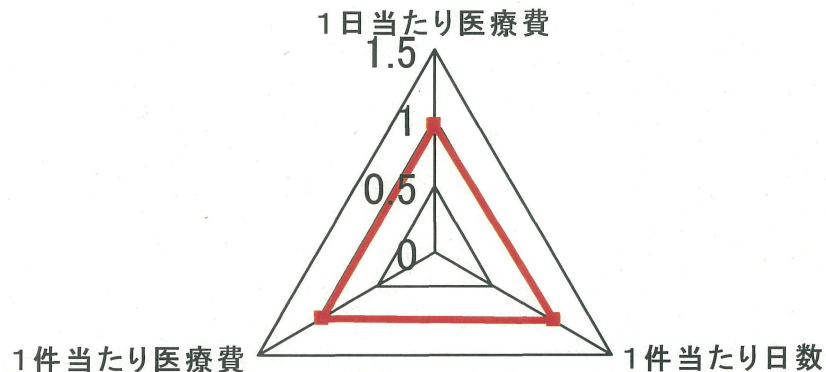


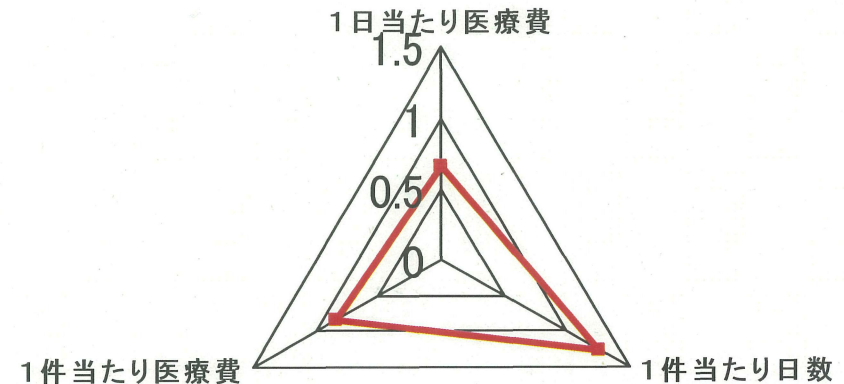
医科入院の主な疾病の諸率

- グラフは、国民健康保険を1とした場合の生活保護の水準を計算したもの。
- 精神・行動の障害は、国保とほぼ同水準である。
- 循環系の疾患は、1日当たり医療費の水準が低く、1件当たり日数の水準が長い。

精神・行動の障害



循環系の疾患



出典. 生活保護は「第52回医療扶助実態調査 平成16年6月診療分」、国民健康保険は「平成16年 社会医療診療行為別調査」を利用して、グラフを作成。

精神及び行動の障害についての比較

- 国保と比較して、相対的に件数割合が大きいのは精神作用物質使用による精神及び行動の障害。
- 生活保護における統合失調症の件数割合は67%と大きな割合になっている。国保も62%と最大の構成割合になっている。
- 診療行為別の点数では、生活保護、国保とも入院等の点数割合が9割近くある。

精神及び行動の障害における疾病ごとの件数割合

	生活保護 ①	国保②	①－②
精神作用 物質使用	11.2%	4.1%	7.1%
統合 失調症	66.8%	61.6%	5.2%

主な診療行為別点数の点数割合

	生活保護①	国保②	①－②
入院等	88.0%	87.5%	0.5%

循環器系の疾患についての比較

- 国保と比較して、相対的に件数割合が小さいのは虚血性心疾患。逆に、相対的に生活保護の件数割合が大きいのは脳梗塞。
- 診療行為別の点数では、生活保護の入院等の点数割合が77%であるが、国保は54.8%。生活保護の手術の点数割合は不明であるが、1割を下回るのではないかと想定される。

循環器系の疾患における疾病ごとの件数割合

	生活保護 ①	国保②	①-②
虚血性 心疾患	8.0%	14.2%	▲6.2%
脳梗塞	41.9%	33.9%	8.0%

主な診療行為別点数の点数割合

	生活保護①	国保②	①-②
入院等	77.1%	54.8%	22.3%
手術	集計項目 なし	15.7%	...